

duomo…イタリア語で町一番の教会という意味です。弊社がお客様や地域の人たちから親しまれ必要とされ町一番の会社になれるようにとの願いを込めてこの名前に決めました。

最近黄砂がよく観測されています。黄砂は、中国大陸内陸部のタクラマカン砂漠やゴビ砂漠、黄土高原などの砂や鉱物粒子が偏西風に乗って日本に飛来する現象です。古来より春霞と言われている現象の中にはこの黄砂によるものもあったといわれています。昔から存在している黄砂ですが、そのころの黄砂には、現代の中国の大気汚染によるPM2.5と呼ばれている人体に悪影響を与えるような物質などは殆ど含まれていなかったんでしょうねエ。(^^)

## 耐震補強工事補助金、空き家対策補助金を利用した中古住宅の全面改修工事



昨年の10月に着工して、約5ヵ月。耐震補強工事を含めた中古住宅の全面的な改修工事がやっと、完成いたしました。工期は5ヵ月ですが、このお話を頂いてから脚かけ3年になります。

古い建物を新しく生まれ変わらせることができました。

昭和の時代に流行っていた二間続きに縁側のついた間取りを現代の生活のスタイルに合わせたプランに変更するために柱を撤去し併せて、耐震補強工事を行い、建築基準法に沿った建物に作り替えるという工事でした。

この建物の場合、屋根瓦と一部のサッシや木製建具を除いて、見えるところほぼ全てがきれいに新しくなって間取りも全く変わってしまっています。だからと言ってこの建物が別の建物になってしまったわけではありません。

建物を新しく建てることと、古い建物を改修して、新しくきれいにするの一番の違いは、新築の場合は、建物の歴史はその時点から始まるけれども、古い建物を、改修して新しくする場合は、建物の歴史はそこから始まるのではなく、その建物のそれまでの歴史が引き継がれていくということです。

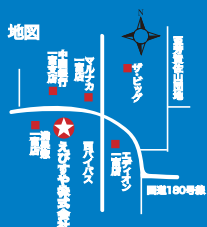
少し違うかもしれませんが、よくウナギのかば焼き屋さんとか焼き鳥屋さんとかで、お店の秘伝のタレを継ぎ足し継ぎ足し、使っていて、それが、そのお店の売りになっているということ



を聞いたりしますが、建物の場合も、古い建物を改修して使い続けていく限り、その建物の歴史は引き継がれていき、それがその建物としての価値を高めていくということがあるように思います。

ここでいう価値というのは、社会的な或いは、資産としての価値という意味よりも、そこに住む人にとっての価値ということです。その建物を大事に思い、改修を重ねて住み継いできた、その思いを感じ取りながら、暮らしていく、そんな風に建物と会話をしながら、又は、建物を通して、以前住んでいた人の思いに触れながら暮らしていくことが何かとても、楽しくて豊かな気持ちにさせてくれるのです。

少し申し添えるなら、新築の場合は、その建物を設計した人、建てた人の思いに触れながら暮らすということになりますね。(^^)/新築にしても改修にしても、そんな思いを感じていただけるような建物を作っていきたいと思っています。



ご連絡先



086-284-6170

えびすや建築工房

TEL. 086-284-6170 E-mail. info@ebisuya-net.co.jp

FAX. 086-284-6175

こちらから無断でお伺いすることはございません。

えびすや 株式会社 〒701-1211 岡山市北区一言113-1